

2023年12月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社五健堂

上場取引所

東

コード番号 9146

URL <https://www.gokendo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 蓮尾 拓也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 不破 洋伸

(TEL)075(612)6688

中間発行者情報提出予定日 2023年9月29日

配当支払開始予定日 2023年9月8日

中間決算補足説明資料作成の有無 : 無

中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期中間期の連結業績 (2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期中間期	4,335	15.9	265	△7.0	372	4.5	241	29.5
2022年12月期中間期	3,742	12.9	285	17.4	356	△12.2	186	△35.7

(注) 中間包括利益 2023年12月期中間期 241百万円 (29.4%) 2022年12月期中間期 186百万円 (△40.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期中間期	186.68	185.45
2022年12月期中間期	144.19	143.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期中間期	10,458	3,302	31.6
2022年12月期	10,232	3,084	30.1

(参考) 自己資本 2023年12月期中間期 3,302百万円 2022年12月期 3,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	10.00	18.00	28.00
2023年12月期	10.00		
2023年12月期(予想)		-	-

(注) 1. 2023年12月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定としております。

2. 当社グループが、直近に公表している配当予想から修正はございません。

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	8,910	7.3	573	1.9	668	2.4	411	11.9	317.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 (中間期) : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年12月期中間期	1,295,000株	2022年12月期	1,295,000株
2023年12月期中間期	ー株	2022年12月期	ー株
2023年12月期中間期	1,295,000株	2022年12月期中間期	1,295,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの5類移行等に伴う経済活動の正常化を背景として内需を中心に穏やかに持ち直しつつあり、また個人消費についても物価高を主因とした下押し圧力はあるものの、賃金の上昇を追い風として穏やかな回復基調を維持しております。その一方で、長期化するロシア・ウクライナ情勢に起因するエネルギー価格等の高騰は依然として企業活動に影響を与え、また世界的な金融引締めによる景気後退への懸念等不安材料による先行き不透明感が拭えない状況が継続しております。

そのような環境下における当社グループの業績につきましては、前述の経済活動正常化による内需拡大の影響や運送単価の上昇、更に前連結会計年度の途中に子会社化した2社分の上乗せもあり、前期比で15.9%増の売上を確保することが出来ました。

一方で、収益面につきましては、昨年来継続している燃料費・電力費等エネルギー関連費用の高騰やその他の広範囲に亘る物価上昇の影響を受けるとともに、備車費用の増加や労働力不足補完のための派遣社員の投入増加等が利益の圧迫要因となっております。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は4,335,255千円（前年同期比15.9%増）、営業利益は265,665千円（同7.0%減）となったものの、株式会社F&Sに対する事業再構築促進補助金の受給80,000千円等があったため、経常利益は372,076千円（同4.5%増）、土地の売却益を主とした特別利益15,071千円の計上もあり、親会社株主に帰属する中間純利益は241,756千円（同29.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①総合物流マネジメント事業

総合物流マネジメント事業につきましては、上述のとおり、運送単価の上昇、前連結会計年度の途中に子会社化した2社分の上乗せ分等もあり、売上については堅調な推移となりました。しかしながら、利益につきましては、各種値上りによる諸経費の増加や備車、派遣費用の増加等があり、前中間連結会計期間比で減収となりました。

この結果、セグメント売上高3,488,889千円（同15.8%増）、セグメント利益224,006千円（同14.8%減）となりました。

②フード&サービス事業

フード&サービス事業につきましては、コメダ珈琲部門が、社会生活正常化に伴い客足がコロナ禍以前の水準に戻ってきており、業績は回復傾向にあります。また前年からの新事業であるBOSS CLUB（ゴルフ練習場・食堂・リラクゼーションサロンの運営）が、売上増加に寄与しております。

この結果、セグメント売上高846,366千円（同16.1%増）、セグメント利益41,659千円（同84.0%増）となりました。

(注) 当社グループは、前連結会計年度までは、「総合物流マネジメント事業」及び「ロジスティクス事業」並びに「フード&サービス事業」の3事業を報告セグメントとしておりましたが、当連結会計年度の期初に組織変更を実施したことに伴い、セグメントを変更しております。セグメントの変更の詳細は、「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項」における「(セグメント情報) 4. 報告セグメントの変更に関する情報」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ134,406千円減少し、3,160,217千円となりました。これは主に、「受取手形及び売掛金」が197,234千円、「棚卸資産」が32,477千円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ359,684千円増加し、7,298,036千円となりました。これは主に、「建物及び構築物」が478,157千円、「土地」が136,025千円増加したこと等に伴い、有形固定資産が375,316千円増加したことによるものであります。

その結果、当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ225,278千円増加し、10,458,254千円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ134,736千円減少し、2,309,623千円となりました。これは主に、「支払手形及び買掛金」が48,301千円減少したこと等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ141,568千円増加し、4,846,032千円となりました。これは主に、「長期借入金」が66,249千円、「リース債務」が34,303千円増加したこと等によるものであります。

その結果、当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ6,832千円増加し、7,155,655千円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ218,446千円増加し、3,302,598千円となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益の計上に伴い「利益剰余金」が218,446千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ180,140千円増加し、1,612,963千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因については、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は661,855千円であります。税金等調整前中間純利益387,147千円に対し、減価償却費(のれん償却を含む。)269,951千円、売上債権の減少197,234千円等が主な増加要因であり、一方、未払消費税等の減少62,361千円、未払費用の減少48,301千円、法人税等の支払額181,703千円等が主な減少要因となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は506,965千円であります。支出の主な要因は、有形固定資産の取得による支出562,140千円、定期預金の預入による支出41,200千円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は25,250千円であります。主な増加要因は、長期借入金の借入による収入462,000千円、主な減少要因は、長期借入金の返済411,930千円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国の経済環境につきましては、上半期同様に緩やかな持ち直しの局面にあり、内需主導の着実な回復が継続することが見込まれておりますが、その一方で先行きの景気見通しについて、諸外国の金融引締め長期化やエネルギー・食料価格等の高騰による世界的な景気後退懸念は拭えず、その影響による日本経済の下振れリスクは大きいとの見方もあり、引き続き不透明な状況で推移するものと思われまます。

そのような環境下ではありますが、当社グループにつきましては、主力である総合物流マネジメント事業を核として、増収増益を実現するべく積極的な事業展開を図ってまいります。

各セグメント別の見通しとして、総合物流マネジメント事業については、当期より本格稼働を開始している第7物流センター（フローゼンセンター）が、冷凍食品の需要増加を背景に順調な稼働率となっており、業績の底上げ効果が期待できるものと考えております。またセグメント内の子会社である㈱三輪タイヤの新本社工場が9月に完成・移転予定となっており、こちらについては、業務の効率化による収益率の向上に寄与するものと判断しております。

もう一つのセグメントであるフード&サービス事業につきましても、コロナ禍で最も影響を受けたコメダ珈琲部門が、ポストコロナにおける消費者の行動・意識変化に伴い、コロナ禍以前の状況に戻ってきており、引き続き堅調な業績推移が見込めるものと予測しております。

これらを踏まえ、2023年12月期の連結業績見通しにつきましては、売上高8,910,236千円（前連結会計年度比7.3%増）、営業利益573,769千円（同1.9%増）、経常利益668,469千円（同2.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益411,406千円（同11.9%増）を予想しております。

なお、経済状況の見通しについては、現時点における当社の予想及び仮定を前提としております。そのため、不確実性を内包しており、今後の業績、財務状況等につきましては、様々な要因により変動する可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当中間連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,973,917	2,131,114
受取手形及び売掛金	978,789	781,554
棚卸資産	138,818	106,340
その他	207,464	144,807
貸倒引当金	△4,367	△3,600
流動資産合計	3,294,623	3,160,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,246,379	3,724,537
土地	1,926,544	2,062,570
建設仮勘定	492,547	201,945
その他(純額)	297,896	349,630
有形固定資産合計	5,963,367	6,338,684
無形固定資産		
のれん	362,807	311,443
その他	24,624	22,996
無形固定資産合計	387,431	334,440
投資その他の資産	587,552	624,911
固定資産合計	6,938,351	7,298,036
資産合計	10,232,975	10,458,254

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当中間連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,806	336,505
短期借入金	500,000	510,000
一年以内返済予定の長期借入金	724,559	708,378
リース債務	24,268	26,506
未払法人税等	142,964	123,939
賞与引当金	48,567	51,638
その他	619,193	552,655
流動負債合計	2,444,359	2,309,623
固定負債		
長期借入金	4,278,222	4,344,472
リース債務	4,867	39,170
退職給付に係る負債	68,724	70,494
資産除去債務	243,514	267,486
その他	109,135	124,409
固定負債合計	4,704,464	4,846,032
負債合計	7,148,823	7,155,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	496,500	496,500
資本剰余金	470,000	470,000
利益剰余金	2,117,651	2,336,098
株主資本合計	3,084,151	3,302,598
純資産合計	3,084,151	3,302,598
負債・純資産合計	10,232,975	10,458,254

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

①中間連結損益計算書

	(単位：千円)	
	前中間連結会計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,742,110	4,335,255
売上原価	2,735,917	3,220,720
売上総利益	1,006,193	1,114,535
販売費及び一般管理費	720,526	848,870
営業利益	285,666	265,665
営業外収益		
受取利息	23	32
受取配当金	140	289
保険解約収入	25,115	913
時短要請協力金	38,363	—
補助金	—	80,000
その他	67,569	40,940
営業外収益合計	131,212	122,175
営業外費用		
支払利息	12,620	13,952
為替差損	—	1,620
支払手数料	48,000	—
その他	98	192
営業外費用合計	60,718	15,765
経常利益	356,160	372,076
特別利益		
固定資産売却益	1,581	15,071
その他	—	0
特別利益合計	1,581	15,071
特別損失		
固定資産除却損	1,019	0
特別損失合計	1,019	0
税金等調整前中間純利益	356,722	387,147
法人税、住民税及び事業税	187,194	162,678
法人税等調整額	△17,201	△17,287
法人税等合計	169,993	145,390
中間純利益	186,729	241,756
親会社株主に帰属する中間純利益	186,729	241,756

②中間連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前中間連結会計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
中間純利益	186,729	241,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	—
その他の包括利益合計	96	—
中間包括利益	186,825	241,756
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	186,825	241,756
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前中間連結会計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	356,722	387,147
減価償却費	160,808	218,587
のれん償却	26,051	51,363
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,366	△4,664
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△767	3,071
退職給付にかかる負債の増減額 (△は減少)	352	1,770
受取利息及び受取配当金	△164	△322
支払利息	12,620	13,952
固定資産売却益	△1,581	△15,071
固定資産除却損	1,019	0
為替差損益 (△は益)	-	1,620
保険解約収入	△25,115	△913
補助金	-	△80,000
売上債権の増減 (△は増加)	27,941	197,234
棚卸資産の増減 (△は増加)	△4,593	32,477
その他資産の増減 (△は増加)	71,282	116,565
未払消費税等の増減 (△は減少)	△33,679	△62,361
未払費用の増減 (△は減少)	110,055	△48,301
前受収益の増減 (△は減少)	10,962	16,595
資産除去債務の増減額 (△は減少)	1,961	2,231
その他負債の増減 (△は減少)	△70,906	△56,691
小計	645,337	774,292
利息及び配当金の受取額	159	316
利息の支払額	△9,808	△11,629
補助金の受取額	-	80,000
法人税等の支払額	△195,151	△181,703
法人税等の還付額	-	579
営業活動によるキャッシュ・フロー	440,536	661,855
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△42,760	△41,200
定期預金の払戻による収入	72,431	64,149
無形固定資産の取得による支出	-	△2,433
有形固定資産の取得による支出	△1,049,826	△562,140
有形固定資産売却による収入	1,581	52,474
保険積立金積立による支出	△16,752	△18,569
保険積立金解約による収入	62,590	2,503
子会社株式取得による支出	△403,602	-
その他	△11,642	△1,749
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,387,979	△506,965

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金（純額）	100,000	10,000
長期借入金の返済による支出	△622,778	△411,930
長期借入金の借入による収入	1,708,000	462,000
リース債務返済による支出	△23,584	△11,509
配当金の支払による支出	—	△23,310
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,161,636	25,250
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	214,193	180,140
現金及び現金同等物の期首残高	2,083,551	1,432,823
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,297,745	1,612,963

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は、以下の2事業を報告セグメントとしております。

セグメント区分	主要業務
総合物流マネジメント事業	食品等の物流業務、メール便業務、物流センター運営、倉庫事業及び事務所、テナント等の賃貸事業、タイヤ販売
フード&サービス事業	コメダ珈琲店及びファミリーマートの運営、BOSS CLUB（ゴルフ練習場・飲食店・リラクゼーションサロン）の運営、マンション等の賃貸事業

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの損益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場価格等に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結財務諸表計上額
	総物流 マネジメント事業	フード& サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,012,933	729,176	3,742,110	—	3,742,110
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,762	8,134	17,896	△17,896	—
計	3,022,696	737,310	3,760,007	△17,896	3,742,110
セグメント利益	263,025	22,641	285,666	—	285,666
セグメント資産	9,401,563	1,212,741	10,614,304	—	10,614,304
セグメント負債	6,715,355	985,589	7,700,944	—	7,700,944
その他の項目					
減価償却費	155,918	30,942	186,860	—	186,860

(注) 報告セグメントの変更に伴い、前中間連結会計期間のセグメント情報を当中間連結会計期間の報告セグメントの区分により作成しております。

当中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結財務諸表計上額
	総物流 マネジメント事業	フード& サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,488,889	846,366	4,335,255	—	4,335,255
セグメント間の内部売上高又は振替高	41,166	8,098	49,265	△49,265	—
計	3,530,056	854,465	4,384,521	△49,265	4,335,255
セグメント利益	224,006	41,659	265,665	—	265,665
セグメント資産	9,351,041	1,107,212	10,458,254	—	10,458,254
セグメント負債	6,357,950	797,705	7,155,655	—	7,155,655
その他の項目					
減価償却費	224,455	45,495	269,951	—	269,951

4. 報告セグメントの変更に関する情報

「1. 当中間決算に関する定性的情報」の「(1) 経営成績に関する説明」注記のとおり、当社グループは、前連結会計年度までは、「総合物流マネジメント事業」及び「ロジスティクス事業」並びに「フード&サービス事業」の3事業を報告セグメントとしておりましたが、当連結会計年度の期初に組織変更を実施したことに伴い、セグメントを以下のとおりとしております。

「総合物流マネジメント事業」

従来の「総合物流マネジメント事業」と「ロジスティクス事業」を統合して一本化しております。当社グループが事業の中核としている3PLのビジネスモデルに基づき、メインの運送事業に加え、物流センターでの仕分作業分やテナント・事務所賃料を含め、物流に関わる全てを中心に一つのセグメントとすることで、当該事業全体の業況・業績を明確にするものです。また、(株)三輪タイヤについても物流関連事業との位置付けから、当該セグメントに含むこととしております。

その結果、当該セグメントの対象事業につきましては、(株)五健堂・(株)MOVING・(株)BRIDGE・(株)PRIDE・(株)古川運輸・(株)ウィングスマルコー・(有)六ツ星運送・(株)三輪タイヤの全事業となっております。

「フード&サービス事業」

従前は、(株)F&Sの事業のうち、賃貸マンションの賃料収入等が総合物流マネジメントに振り分けられる等判別し難い面がありました。今回のセグメントの見直しにおいて、物流に関係しない、主としてBtoC事業については、当該セグメントに統合することでより明確な開示とするものであります。

その結果、当該セグメントの対象事業につきましては、(株)F&Sの全事業となっております。

(参考) 従前の3セグメントを踏襲したと仮定した場合の比較表は以下のとおりです。

前中間連結会計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結財務諸表計上額
	総合物流 マネジメント事業	ロジスティクス 事業	フード& サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	297,833	2,735,421	708,854	3,742,110	—	3,742,110
セグメント間の内部売上高又は振替高	345,894	132	—	346,027	△346,027	—
計	643,728	2,735,554	708,854	4,088,138	△346,027	3,742,110
セグメント利益	52,214	223,991	9,460	285,666	—	285,666
セグメント資産	6,507,760	3,164,563	941,980	10,614,304	—	10,614,304
セグメント負債	6,562,005	397,143	741,796	7,700,944	—	7,700,944
その他の項目						
減価償却費	108,355	55,380	23,124	186,860	—	186,860

当中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結財務 諸表計上額
	総物流 マネジメント事業	ロジスティクス 事業	フード& サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	496,390	3,007,514	831,350	4,335,255	—	4,335,255
セグメント間の内部売 上高又は振替高	387,069	36	535	387,642	△387,642	—
計	883,460	3,007,551	831,886	4,722,898	△387,642	4,335,255
セグメント利益	32,093	198,482	35,090	265,665	—	265,665
セグメント資産	6,579,999	3,028,753	849,500	10,458,254	—	10,458,254
セグメント負債	6,250,607	328,197	576,851	7,155,655	—	7,155,655
その他の項目						
減価償却費	171,144	60,379	38,427	269,951	—	269,951